

付録 3 8

1 9 : 創造主の署名

数々の経典だけが、神によって数学的に構成された創造物ではなく、そこに共通の分母として「19」という数が存在しているわけではない。実に深遠なことに、ガリレオは次の有名な言葉を残している。

「数学は、神が宇宙を創造する際に用いた言語である。」

数多くの科学的発見によって、19 という数が、ある種の創造物に刻まれた神の署名を表していることが示されてきた。この神聖な刻印は、ミケランジェロやピカソの署名がかれらの作品を識別するのと同じように、宇宙の至る所に見出される。例えば：

1. 太陽・月・地球は、19 年ごとに再び同じ相対的位置関係で一直線に並ぶ（『エンサイクロペディア・ジュダイカ』「暦」の項参照）。
2. ハレー彗星という顕著な天体现象は、76 年ごとに私たちの太陽系を訪れる。これは 19×4 である。
3. あなたや私の身体にも神の印が現れている。人体は 209 個の骨を持ち、これは 19×11 である。
4. T.W. サドラー著『ラングマン医学発生学』は、アメリカの多くの医学部で教科書として用いられている。同書第 5 版 88 ページには次のように書かれている：
「一般に、正期産胎児の妊娠期間は、最後の月経開始から 280 日（40 週）、より正確には受精から 266 日（38 週）と考えられている。」
266 と 38 は、どちらも 19 の倍数である。